



<News>

レトロゲーム配信サービス『プロジェクトEGG』にて 2014年4月8日に『ラプラスの魔 (X68000 版)』をリリース

平成 26 年 4 月 8 日

株式会社D4エンタープライズ

2014年4月8日、レトロゲームの復刻ビジネスやデジタルコンテンツの配信を行なっている株式会社D4エンタープライズ（本社・東京都千代田区、代表取締役・鈴木直人）は、同社が運営するレトロゲーム配信サービス『プロジェクト EGG (※)』において、新規コンテンツ『ラプラスの魔 (X68000 版)』のリリースを開始しました。

タイトル : ラプラスの魔 (X68000 版)

ジャンル : ロールプレイングゲーム

メーカー : ハミングバードソフト

配信サイト URL :

http://www.amusement-center.com/project/egg/cgi/ecatalog-detail.cgi?contcode=7&product_id=1157

発売日 : 4月8日

価格 : 500円 (税抜)

権利表記 :

(C)2014 グループSNE

(C)2014 ProjectEGG

(C)2014 D4Enterprise Co.,Ltd.

舞台は 1920 年代、アメリカ東部の片田舎ニューカム。この小さな街にひっそりと建つ、かつてウェザートップ館と呼ばれた古い洋館がある。今は住む者もなく、いつしか幽霊屋敷と呼ばれるようになったこの屋敷で、次々と奇怪な事件が発生し始めていた。事件の謎を解明するため、アメリカ中からゴーストハンターが片田舎の街に続々と集結した。

本作は 1987 年にリリースされた一人称視点のロールプレイングゲーム。オリジナルは PC-8801 版ですが、今回リリースされるのは 1990 年にリリースされた X68000 版になります。ゲームは一人称視点の 3DRPG で、探偵、ジャーナリスト、科学者、霊能者、ディレクタントなど個性豊かな仲間をパーティを編成して幽霊屋敷ウェザートップ館に挑むことになります。戦闘はターン制で物理攻撃と精神攻撃といった属性の概念などもあり、精神攻撃でしか倒せない敵なども登場します。

ゲーム序盤では、いきなり館に閉じ込められてしまい、最初はどうしたら館から脱出できるか？ を模索しなければいけなかったり、館の中には発狂してしまう罠が仕掛けられていたり、モンスターの写真を

撮影して、それを町で売ることでお金が得られたりと、ホラーモノならではの要素が目白押し！ 謎解きも含めた歯ごたえのある 3DRPG をプレイしたい方にオススメのタイトルです。

ちなみに本作は、米国の怪奇小説作家 H.P. ラヴクラフトの『クトゥブ神話』をモチーフに、グループ SNE の安田均氏が原作を担当。1994 年には続編として『パラケルススの魔剣』などもリリースされています。

EGG チャンネルにて紹介動画公開中！

<http://youtu.be/VoVhPXSGMxc>

※ 『プロジェクトEGG』とは

PC-9801、FM-7、X1 といったようにプラットフォームが乱立していた 1980 年代。この時期に発売された PC ゲームは、今のゲームに大きな影響を与えました。しかし記録メディアの劣化やプラットフォーム等の変化により、それらは次第に遊べなくなっています。

D4 エンタープライズでは、レトロゲームを文化遺産のひとつと考え『プロジェクトEGG』を発足しました。過去の名作を Windows 上に復刻し、いつまでも楽しめるようにすること。それが『プロジェクトEGG』の役割と考えております。

『プロジェクトEGG』 URL :

<http://www.amusement-center.com/project/egg/>

動画でゲーム紹介！ YouTube 内チャンネル『EGGチャンネル』 URL :

<http://www.youtube.com/ProjectEGG>

最新情報を即ゲット！ 公式 Twitter 『EGGなう！』 URL :

https://twitter.com/project_egg

スタッフゲームレビュー掲載中！ 『プロジェクトEGG』公式 Facebook URL :

<http://www.facebook.com/ProjectEGG>

【報道機関からのお問い合わせ】

株式会社 D4 エンタープライズ 広報担当 大石

<http://www.d4e.co.jp/>

Mail : info@d4e.co.jp / TEL : 03-3518-6886 / FAX : 03-3518-6887